

完全無縫製ニットに繋がる進化を遂げた三世代の手袋編機

登録番号	第00396号		
登録年月日	2026(令和8)年9月29日	登録区分	第一種 (大量生産品等同様のものが複数あるもの)

名称 (型式等)	【日本の手袋編機の進化過程を表す三つの代表的編機】 (1) ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機 (2) 全自動手袋編機 (角型) (3) 全自動シームレス手袋編機 SFG®
所在地	和歌山県和歌山市 シマセイキ フュージョンミュージアム
所有者 (管理者)	株式会社島精機製作所
製作者(社)	(1) の五指連続手袋編機 株式会社森精機製作所 (現 DMG森精機株式会社) (1) のゴム糸挿入装置 島正博 (島精機製作所創業者) (2), (3) 株式会社島精機製作所
製作年	(1)1955年 [1948年 (五指連続手袋編機)、1955年 (ゴム糸挿入装置)]、 (2) 1964年、(3) 1970年
選定理由	本資料は日本特有の作業手袋 (軍手) 編機の歴史上重要な三機種である。(1)は手袋本体と手首編地との連続編成 (一体化) することで縫製工程を無くすと共に、ゴム糸挿入により着脱を容易化、(2)は各部位の選針、編成位置、駆動幅、シンカー、糸切換等の制御を全自動化、(3)は一針毎の選針装置を導入し指先と指股のかがり作業を不要としてシームレス化——を各機で実現してきた。五本指靴下編機、さらにはコンピュータ・サーボモータ・生産技術の進歩により1995年に誕生した無縫製横編機を発想させた編機の技術系譜として重要である。
登録基準	一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの) 二ーイ (国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの)

公開・非公開	公開
写 真	 (1) ゴム糸挿入装置付五指連続手袋編機 ※ゴム糸挿入装置: 赤いラインで囲まれた部分 (2) 全自動手袋編機 (角型) (3) 全自動シームレス手袋編機 SFG®
その他参考となるべき事項	